



〇報謝の至誠
 〇文化の創造
 〇世界観の確立

発所 星城高等学校
 編集 石田泰城
 製作 星城高等学校
 庶務 国際交流部

〒470-1161
 愛知県豊田市深淵山2-0
 TEL.0562-97-3111
 FAX.0562-97-2015
<https://www.seiuh.ed.jp>



東京大学 理科二類合格

夢を叶えた先輩に聞く！ 合格までの道のり

先生方が導いてくれた。本当に感謝です。



校長 石田 泰城

受験勉強は決して平坦な道のりではありません。日々の努力の積み重ねが必要であり、時には思うように結果が出ず、苦しい時期を経験することもあったことでしょう。しかし、恒川さんは持ち前の探究心と粘り強さを発揮し、自らの目標に向かって努力し続けました。その姿勢は、後輩たちにとって大きな励みとなるに違いありません。

本校では、生徒一人ひとりが自ら考え、学び、成長することを大切にしています。恒川さんは、授業や本校独自の探究活動を通じて主体的に学び、幅広い知識と柔軟な思考力を養ってこられました。その成果が今回の合格につながったのではないのでしょうか。



恒川コース 恒川 清香
(星城高等学校出身)

本校仰星コースで学び、東京大学理科二類に現役合格を果たした恒川さん。本校としても誇らしい快挙であり、心から祝福の言葉を贈ります。まことに、おめでとうございます。

恒川さん
ありがとうございます。

校長
いつ頃から、東大受験を意識しましたか？

恒川さん
高校二年生の一月頃なんです。結構ギリギリで。もともと大学に入学してから学部を選べる大学が良くて、北大を考えていたのですが、数学の森本先生から、判定が良いからもう一段階上狙えるよって。東大目指してこらよ。って言ってくださったことがきっかけなんです。それで、過去問を解いてみたら、出題形式が自分に合っていて、解きやすくて、だから、チャレンジしてみようか、と思いました。(笑)

校長
もし、森本先生からのその一言がなかったら？

恒川さん
受けてないかもですね。だって、全く考えていなかったから。(笑) ただ、いろいろな大学の過去問は片っ端から解きましたね。それで、どうしよかかって。そうやって、最終的に東大に絞った感じです。

校長
受験勉強で、苦労したことは？

恒川さん
受験勉強自体は、結構前から意識はして、そこそこのペースで進んでいって、そのころから意識が長かったです。そうそう、高一の頃はなんだか疲れちゃって、全く手につかなくなっていた時期でした。なんか、そこで休んでいいよって周りが言ってくれたので、塾も休まずに、ゲームばかりして過ごしていました。あの時に、勉強し

なさいって言われなかったのが、私的にはすごく良かったです。(笑)

校長
その状況で、また、受験勉強に取り組めたのはなぜなんだろう？

恒川さん
ずっと勉強しなかったら、なんかまた少しづつやりたくなくなっちゃたんです。なんだろう？ きっと周りの子たちが、なにかしら受験に意識を持っていったので、そういう環境が良かったんだと思います。そこから、毎日毎日数学ばかりやっていましたね。

校長
恒川さんにとって、どのような勉強方法が良かったのだろうか？

恒川さん
私はそんなにたくさん勉強するタイプじゃなくて。その頃は、一日一時間とか二時間とか。ちょっと気が向いたら問題を解いてみようかなって感じでした。そこから、だんだんと受験に向かって取り組んでいくという感じでした。すごく意識していたことは睡眠です。睡眠はもう絶対。確実に七時間ぐらひはとっていました。

校長
私は、家のんびりできる場所にしたかったので、家での勉強はほとんどしていません。高校三年間で、合わせて五時間ぐらい？ 本家に家で、単語帳を見ることをしたぐらいで、家はもう完全にリラックスイド。家はもう完全にリラックスイド。家はもう完全にリラックスイド。

校長
受験までのスケジュールは？

恒川さん
三年生の四月には、過去問に集中していました。結構早めに勉強が進んでいました。

校長
早めに勉強が進んでいた要因は？

恒川さん
先生たちがほとんど、あれやれ、これやれって、いろいろなものを渡して。正直、自分自身は何やってもいいか分からなかったけど、先生の言うことを聞いていたら、知らないうちに進んでいったという感じ。私の場合、それがすごくありがたかったですね。

校長
結構、圧が強かったけど。(笑) 次いつ来る？って聞かれると、いついつ来ます。っていついつ来ちゃって。それで、その日までにこれやらなきゃって。そうやって、今思うと先生方がルールを引いてくれた

のは、本当にありがたかったです。想像以上に険しいレベルでしたけど。

校長
順調に進んでいたんだね。

恒川さん
はい。でも、ずーっと安定してはいけなくて、高校三年生の夏の模試では、判定が落ちてきて。自分自身は上がってきてるのに、判定が落ちてきたんです。

校長
上がってるのに、落ちてくるのは？

恒川さん
やっぱり、ほかの子たちも頑張ってるって、どんどん上げてくるんですよ。点数は取れているのに、周りも上げてくるから、確実に偏差値は下がるし、判定も落ちてくる。そこはつらかったです。それが、焦りにもなっていました。でも、まだB判定だから、頑張ろうって、自分に言い聞かせましたね。

校長
そして、実際の受験は？ 緊張しましたか？

恒川さん
緊張はあまりなかったと思います。何回も何回も模試を受けていたので、感覚的には模試の受験とあまり変わらなくて。ただ、なんか本命の前の私大受験の時は、ちょっと解けなくて焦りました。東大の受験は、良くも悪くもあんまり勉強が報われない感じがします。知識を問われるより、それを活かして思考しなきゃいけない問題だから。ちょっとそこは気が楽でした。よっぽど、共通テストの方が、暗記暗記ばかりで知識を問われるので大変でした。

校長
実際に、合格を目にした時は？

恒川さん
自信があったわけではないんです。七割ぐらいかな、可能性は。東大の合格を知った時は、単純に、良かったって思いました。実は、東大受験の前日に私大の合格をもらっていて、よっぽどそちらの方が緊張して、その合格で、なんだか気持ちが落ちていたって感じがあります。

校長
一番最初に合格を伝えたのは？

恒川さん
やっぱり親ですね。LINEで伝えました。東大の合格発表の時は、空港にいたんです。空港のカフェにそこでパソコンを開いて、一人で見ました。その後、先生方に連絡しました。

校長
その時の心境は？

恒川さん
とにかく「安心」しました。「嬉

新たな挑戦、東大生としての未来図は？

からということですね。

恒川さん
そうですね。視野を広く持つために、いろいろなことを知って、知識、教養を深めて、もっと多角的に物事を見られるようになりたいですね。

校長
四月からは東京での一人暮らし。不安はありませんか？

恒川さん
そうですね。高校生活では、家を出るのが朝七時とかで、帰るのが十時過ぎるので、全然お手伝いもせず勉強やらせてもらっていた感じだから、ちょっと申し訳ない感じですけど、でも、中学生の時は少しお手伝いしていたので。まあ、大丈夫だと思います。(笑)

校長
不安なのは、ちゃんと友達できるかな？ やっぱ、理系女子がとか少なくて。結構SNSとかで春から何とかみたいなのハッシュタグを見て回ってても、なかなかいなくて。まだまだ見つかってないから。オリエンテーションの時に、女子を見つけて、早く話しかけようと思っっています。友達ほしいです……。

校長
最後に、後輩たちにアドバイスを頂けませんか？

恒川さん
最初にゴールは意識しなくていいと思います。受験勉強を始めた段階でもいかに、まずは過去問を解いてほしい。受験勉強は無理しすぎず、できればのんびりと取り組んでほしいので、そのためにも早く目標を立ててほしいと思います。

校長
そして、私みたいに先生方にレールを引いてもらうのが一番かも。そのレールは決して平坦ではなかったけど、先生方をしっかりと頼って、信頼してほしいです。そうすると半ば強制的に。(笑)

校長
受験勉強を始めるのが遅いと、結構辛そう。高三とかで受験勉強を始めた子たちを見ると、そんなにすぐ身につくものではないから、結局は時間の勝負だと思っていいです。

校長
ありがとうございます。健康に気をつけて充実した毎日を送り、自分を信じて前に進んでください。恒川さんのこれからの大学生活が、さらなる学びと成長に満ちたものとなるよう、教職員一同、心より願っています。

